

海外における日本研究の
新地平

海外若手研究員による 府民向けセミナー

主催：京都府立京都学・歴彩館 共催：京都府立大学

「古代における国家の成立と駅制・駅馬」

京都学・歴彩館 京都学研究員

クリオ・シモネッタ



「東寺百合文書にみる中世寺院の食文化」

京都学・歴彩館 京都学研究員

エミリー・ウォレン

<日時>

令和6年 1月25日(木)

午後1時30分から3時

(開場：午後1時)



「松田数秀等招請入足注文」東寺百合文書 Web



エミリー・ウォレン



クリオ・シモネッタ



南山下遺跡 馬形埴輪

滋賀県立安土城考古博物館
令和5年度秋季特別展「馬でひも解く近江の歴史」図録より
四條畷市教育委員会・四條畷市立歴史民俗資料館蔵

<会場>

京都府立京都学・歴彩館 小ホール

定員 70名 無料 当日受付 先着順

Clio Simonetta

研究テーマ

日本の古代の駅制

日本への馬の導入は、古代の日本の社会と政治制度の進展過程において、重要な役割を果たした。中央集権国家の成立に不可欠であった駅制は、移動手段としてのみならず、物資流通や情報伝達手段として欠くべからざるものであり、また、戦争や反乱の際に軍馬が果たした役割は大きかった。

本研究では、日本の古代の駅制がどのように発展し、いかに変化を遂げたかを調査し、騎馬文化と国家の発展の関係を解明したい。

略歴

フランス国立東洋言語文化大学
日本文化・日本語（学士）
日本文化（修士）
フランス高等研究実習院大学院
歴史・文献・資料学専攻、博士課程

Emily Warren

研究テーマ

東寺百合文書と古記録の食文化

平安から鎌倉期の宮廷の食文化について、『延喜式』に見られる食材調達の詳細や、中世の料理書『厨事類記』、藤原頼長の日記『台記』等の記載を調査して当時の宴席での食の歴史を検討してきた。さらに中世寺院と宮廷の食文化を研究するため、歴彩館が有する『東寺百合文書』などの古記録や、日記・儀式書の記述の検討を加え、世界の料理に影響を与えている和食文化の歴史について考察を深め、海外に発信したい。

略歴

南カリフォルニア大学
東アジア言語と文化研究学科
日本文学専攻（学士）（修士）
南カリフォルニア大学
歴史学科日本史専攻博士課程

<< アクセス >>



●ご来場には、地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

- ▶ JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から
京都市営地下鉄 烏丸線「北山駅」下車 (①出口)
南へ徒歩約4分
- ▶ 京阪出町柳駅から
京都市バス1
府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分
- ▶ JR二条駅から
京都市バス206
府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分